

目 次

あいさつ

沖縄県特別支援学校知的障害教育校	会長 平 良 直 子	… 1
------------------	------------	-----

祝辞

沖縄県教育委員会	教育長 金 城 弘 昌	… 2
沖縄県特別支援学校 PTA 協議会	会長 玉 寄 進	… 3
沖縄県特別支援学校長会	会長 瀬 長 忍	… 4
沖縄県特別支援学校知的障害教育校長会	会長 古我知 博 樹	… 5

発足 30 周年によせて

第 7 代 照 屋 尚 子	… 7
第 8 代 玉 城 正 敏	… 8
第 9 代 屋 良 朝 央	… 9
第 10 代 仲宗根 美佐代	… 10

沖縄県知的障害教育工 PTA 連合会沿革	… 11
----------------------	------

各単位 PTA 活動紹介及び学校紹介	… 23
--------------------	------

資料編

歴代役員及び各単 P 役員	… 45
感謝状受賞者一覧	… 55
会則	… 56

編集後記



あいさつ

沖縄県特別支援学校知的障害教育校 P T A 連合会

会長 平 良 直 子

沖縄県特別支援学校知的障害教育校 P T A 連合会の 30 周年誠にありがとうございます。

本日、皆様と喜びの日を迎えることができますことを大変嬉しく思います。

10 年前の本連合会は加盟校 8 校、会員 2,100 人でしたが、平成 26 年度に美咲特別支援学校はなさき分校が加わって 9 校となり、現在では会員数も 2,800 人を超えております。また、特別支援学校の幼児児童生徒数が年々増加傾向にある中、令和 4 年度開校予定の那覇みらい支援学校の建築もスタートし、今後もまだまだ会員数が伸びていくだろうと思われま

さて、私たち沖知 P 連は、これまで子どもたちを取り巻く教育環境整備に関する課題や特別支援教育に関連する幅広い情報交換の場として積極的に活動してまいりました。そのような中、次期特別支援学校編成整備計画案での新たな中部の特別支援学校新設案、肢体不自由と病弱部門の統一案、高等支援学校の増設案等があり、嬉しい限りです。

「インクルーシブ教育」を目指して、様々な課題はありますが、これからも障害児教育に携わっていただく皆様方と協力して、子供たちの未来のために、情報の共有化をいろいろな分野にお願いしていきたいと思います。

今年度は、全国、九州特別支援学校知的障害教育校 P T A 連合会、理事会、研究協議会沖縄大会が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、中止を余儀なくされました。とても残念な思いです。大会に向けて、コツコツと取り組んできた役員の皆様、先生方、本当にありがとうございました。

これからは、今までとは違う支援体制が必要になってくると思いますが、未来のこども達の取り巻く環境をより良くするために、連合会、そして地域の学校との連携を大切にしていきたいと思

最後に 30 周年を迎えるにあたり、ご尽力を賜りました各学校理事の皆様、関係各位に深く感謝申し上げ、沖縄県特別支援学校知的障害児教育 P T A 連合会のさらなる発展を祈念申し上げます。挨拶といたします。

令和 3 年 2 月 28 日



祝 辞

沖縄県教育委員会
教育長 金城 弘 昌

沖縄県知的障害教育校P T A連合会が結成30周年を迎えましたことに対し、心からお祝い申し上げます。

また、知的障害教育校単位P T Aの皆様には、平素より特別支援教育の充実・発展を目指して、活動を推進しておられることに対し深く敬意を表します。

貴連合会は、平成3年に結成され、「知的障害教育の充実・発展を促進し、会員相互の協力を図ること」を目的に活動をされてきました。これまで、会員相互の協力のもと、障害のある児童生徒の健全な育成を願い、本県の特別支援教育とりわけ知的障害教育の充実・発展に寄与されておりますことに対し、心から感謝を申し上げます。

さて、この10年間我が国においては、平成23年障害者基本法の改正、平成25年障害者差別解消法の制定等の関連国内法の整備がなされ、平成26年国連の「障害者の権利に関する条約」を批准しました。これらにより「障害のある児童がその潜在能力を最大限に発達させ、自由な社会に効果的に参加できるようにするという教育理念のもと、障害のある児童と障害のない児童とが可能な限り一緒に教育を受けられるよう配慮すること」が求められております。

県教育委員会としましても、平成22年以降高等学校に軽度知的障害のある生徒を対象に特別支援学校を併設する取組を推進し、その数は現在5校となっております。さらに、令和3年は高等学校に知的障害の程度が中度・重度の生徒を対象にした特別支援学校分教室「ゆい教室」を設置し、調査研究を進めるとともに、令和4年度には那覇みらい支援学校を開校します。今後とも特別支援教育の充実を図り、地域における共生社会の形成及びインクルーシブ教育システムの構築に向けて取り組む所存であります。

貴連合会におかれましては、知的障害のある幼児児童生徒がその能力を最大限に発揮するために、今後とも、単位P T A間の情報交換及び連携強化・協調、知的障害教育に関する研修と啓発、会員相互の親睦、その他関係団体との連携を図っていただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の結成並びに運営に御尽力くださいました歴代会長をはじめ、会員の皆様及び関係各位に対し深く感謝申し上げますと共に、沖縄県特別支援学校知的障害教育校P T A連合会の限りない御発展と御活躍を祈念し、お祝いのことばといたします。

令和3年2月28日



祝 辞

沖縄県特別支援学校 PTA 協議会

会長 玉 寄 進

(西崎特別支援学校 P T A 会長)

沖知 P 連 3 0 周年の記念すべき節目を迎え、記念誌を発行するに際し、祝辞を申し上げます。現在、県立の知的障害特別支援学校は、平成 26 年度より美咲特別支援学校はなさき分校が加盟して 9 校となり、会員数も 2 8 0 0 人と 2 0 周年時の 2 1 0 0 人から 700 人を越えております。

発足以来 3 0 年間の足跡を顧みますと、

①交流スポーツ大会の開催

現在では沖縄県特別支援学校 PTA 協議会加盟校による開催へと発展を遂げ、各校のアピールの発表等も企画しながら交流を深めています。

②全国大会、九州大会における情報交換及び参加報告会

令和 2 年 11 月に全国研究協議大会九州大会(沖縄大会)開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、中止となりました。準備に携わってきた、保護者、先生方の落胆は大きかったですが、沖縄大会の成功に向けて各々が時間をつくり、顔を合わせたことに、揺るぎない絆が生まれました。

③県教育長訪問

那覇市への学校設置要請、長年の思いが実り、那覇みらい支援学校の開校(令和 4 年 4 月開校予定)によって、県立特別支援学校編成整備計画の中で各学校の過密の問題も前進していく流れだと考えます。

④毎年就職キャンペーン活動

このように様々な視点から実に素晴らしい活動を推進しております。その歩みの偉大さに敬意を表すものであります。創立 3 0 周年という節目を迎えるということは、本会にとっても意義深いことであります。

今後は、これまで情熱を持って実践された先日達、及び諸関係各位の皆様へに倣い、本会の進むべき方向性を明らかにしていくこの上ない機会であると考えております。

「全ては子供達の笑顔のために、子供達の身となり立場に立って活動していかなければなりません。全ての会員の皆様が無事携われるような、誰もが出来る PTA を目指していきたいと考えます。難しいことを実行するにも、人がやること、楽しい雰囲気づくりを意識し実行につながっている道半ばですあります。

新型コロナウイルスの影響により活動が制限される中ではありますが、子供達を支えるべく、できることは何かということに常に考え、知恵を深め、なお一層の絆、結束を固め力強い活動を展開しなくてはならないと考えますし、私達に課せられた使命だと思っております。

地道こそ最大の近道！！

結びに、この記念すべき 3 0 周年が新たな出発点となり、皆様の更なる活躍と限らない発展を祈念しますとともに、これまで本会のためにご尽力頂きました皆様に厚くお礼を申し上げ、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます、祝辞といたします。

令和 3 年 2 月 28 日



祝 辞

沖縄県特別支援学校長会

会長 瀬 長 忍
(県立那覇特別支援学校長)

沖縄県知的障害教育校P T A連合会（沖知P連）結成 30 周年の節目にあたり、沖縄県特別支援学校長会を代表してお祝い申し上げます。

沖知P連は平成3年度に発足・結成以来、知的障害教育校の充実発展を推進し、会員相互の協調を図ることを目的として、各知的障害教育校単位P T Aの活動支援や全体研修にご尽力されてられました。それもひとえに、その活動を支えてくださいました保護者の皆様と各校長先生、教職員の協力体制があったからだと思います。

この30年の間に、「平成」から「令和」へと年号が変わり、「特殊教育」が「特別支援教育」に、「養護学校」が「特別支援学校」に名称が変わりました。大きな時代の流れを感じます。この10年間では、A I（人工知能）が飛躍的に進化し、パソコン、携帯電話等通信機器の発展も、ものすごい勢いです。そんな目まぐるしく変わる社会情勢の中、平成30年度には学習指導要領が改訂され、子供たちが未来社会を切り開くための資質・能力を一層確実に育成することを目指し、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視することになりました。

沖縄県の特別支援学校も、現在では盲学校、聾学校、特別支援学校は14校（分校2校）（分教室2校）、沖縄高等特別支援学校と県立高校4校併設の高等支援学校があります。そして、次年度からは県立真和志高校で「学びの教室」（県立島尻特別支援学校高等部分教室）が始まる予定です。多様な学びの場があり、特別支援教育も充実してきました。さらに、那覇南部地域の課題である過密校解消に向け、沖知P連会員、他障害種のP T A会員が協力し、沖縄県特別支援学校P T A連合会として要請活動を行った結果、令和4年度、那覇地区に新しい特別支援学校「県立那覇みらい支援学校」が開校することになりました。ご尽力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

さて、今年度は「新型コロナウイルス感染症」というこれまでにない感染症との戦いが始まり、緊急事態宣言や学校休業等がありましたが、まだまだ収束する気配さえなく、「with コロナ」新しい生活様式へと生活を変えていかなければなりません。本来なら11月には「全国知的障害教育校P T A連合会（沖縄大会）」が開催される予定もありましたが、この新型コロナウイルス感染症拡大の影響から“中止”となってしまいました。3年前から、大会準備をされていた関係役員の皆様には、本当に残念なことだったと思います。そんな厳しいコロナ禍において、沖知P連が30周年を迎えたことは大変意義深いことだと思います。これからも会員相互の協調と親睦を深め、活気と笑顔あふれる活動を継続されることを期待します。

結びに、これまでの歴代会長の皆様、各校長先生方に敬意を表しますとともに、30周年事業に関わられた役員の皆様、保護者、職員の皆様方に心より感謝申し上げます。これからも沖知P連がますます充実・発展していくことを祈念し、祝辞といたします。

令和3年2月28日



祝 辞

沖縄県特別支援学校知的障害教育校校長会

会長 古我知 博 樹
(県立八重山特別支援学校長)

沖縄県特別支援学校知的障害教育校P T A連合会（沖知P連）の発足30周年に際し、心から御祝い申し上げます。

また、幼児児童生徒、保護者、教職員、関係機関の皆様の連携体制やこれまでの地道な活動と御努力の積み重ねに、改めて敬意を表し感謝申し上げます。

ちょうど10年前、島尻特別支援学校教頭在職1年目に本連合会の事務局として20周年記念式典事業を担当したことが懐かしく思い出されます。

さて、本県の知的教育校は幼児児童生徒数や学校数の増加をはじめ、高等支援学校の専門学科や高等部普通科専門コースの設置、教育要領・学習指導要領の改定をはじめ、教育課程や教科等の指導内容など、時代とともに大きく変化しております。

10年前、8校の知的教育校が、現在では高等学校併設型高等支援学校4校、分校1校を含めて計13校となりました。その間、肢体教育校が必要な南部地区の島尻特別支援学校が知的・肢体の2教育部門併設型に、特別支援学校が限定されている離島・北部地区の各基幹校である名護特別支援学校、宮古特別支援学校、八重山特別支援学校が、知的・視覚・聴覚・肢体・病弱の全教育部門併設型に整備されております。中部地区においては、美咲特別支援学校はなさき分校が令和3年4月から、はなさき支援学校として分離独立します。また、インクルーシブ教育の広がりにより視覚・聴覚・肢体・病弱教育校が小規模、過小規模、極小規模校化にある中、知的教育校の幼児児童生徒数は増加の一方で、ハード・ソフトともに課題が山積し、県総合教育会議やマスコミにも取り上げられております。名護支援・はなさき分校の中規模校化、大平支援の大規模校化、美咲支援・島尻支援の過大規模校化の対応も継続課題となっており、那覇地区においては、令和4年4月に開校予定の、知的・肢体・病弱の3教育部門併設型である那覇みらい支援学校に期待を寄せております。

知的教育校の過密化解消の課題に係る緊急的・抜本的な解決策は、中長期的なハード面の対策と合わせてソフト面の対策も重要であると考えます。幼児児童生徒の個性や実態に応じた真のインクルーシブ教育、支援学校、支援学級、通級指導教室、通常学級における特別支援教育を実施していくためには、その本質から逸れることなく真摯に向き合っていかなければなりません。

コロナ禍で、予測困難な時代を生きていく幼児児童生徒や我々も含めて、これからの社会は思考の切り替えと柔軟な発想が一層求められてきます。時代や社会の変化に幼児児童生徒各自の適応力を高めさせるよう導いていくことは我々大人の向き合う課題であると考えます。

結びに、今後も本連合会結成当時からこれまでの歩みに想いを馳せ、関わられた全ての方々に敬意と感謝を忘れずに、次の40周年をめざして着実な活動を続け、幼児児童生徒達の未来に向けた沖知P連の組織と取り組みが充実していくことを祈念し祝辞といたします。